



「新型コロナウイルス感染症危機に対する保健医療能力強化計画」 引き渡し式の実施

2022年12月21日

12月21日、平田大使は国連児童基金（UNICEF）と日本政府の無償資金協力案件「新型コロナウイルス感染症危機に対する保健医療能力強化計画」の医療機材引き渡し式に出席しました。同案件をとおり、世界保健機構（WHO）より認定された冷蔵庫447台等が、コールドチェーン及びワクチン接種インフラ整備のために、国内7県の診療所のワクチン接種所に設置されました。同式典は、ハバナ県レグラ市の「リディア・イ・クロドミラ」診療所で実施され、アナ・テレシータ・ゴンザレス外国貿易・外国投資省次官、カレルダ・ペニャ保健省衛生及び感染症担当次官、アレハンドロ・トロセロ UNICEF キューバ事務所代表、ベアトリス・パレデス・フィンレイ・ワクチン研究所及びヘスス・グティエレス診療所所長らが出席しました。

平田大使は、「コールドチェーンは、COVID-19 対策にとどまらず、他のワクチンの保存や保管にも不可欠であり、このプロジェクトの実現を喜ばしく思います」と述べました。また、このプロジェクトを実現させた全ての機関や個人に感謝し、コロナウィルス感染症の抑制を達成したキューバ国民、政府及び科学者に祝意を表しました。



UNICEF は同プロジェクトが 120 万人の子供を含む 600 万人以上の人々に恩恵をもたらすと説明し、またキューバ政府は、日本政府、日本国民及び UNICEF に対し、キューバの保健システム強化に寄与する重要な寄付であると感謝の意を述べました。

式典後、出席者は同診療所のワクチン接種所や緊急処置室を視察しました。

在キューバ日本国大使館
開発協力班

Tel: (+53) 7204-3355, 7204-8904

ホームページ: www.cu.emb-japan.go.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/EmbajadaJapon.Cuba/>

Telegram: <http://t.me/EmbajadaJapon.Cuba>